

# 令和7年度「山形学」第2回講座 実施報告書

## 講座概要

---

◆日 時：8月31日（日）13:00～15:45

◆会 場：遊学館 第1研修室

◆テーマ：「おもしろ農楽～つながる広がる地域の活力」

第2回テーマ「挑戦！農業の道を切り拓く！」

◆内 容：

講師 佐藤尚利氏（農事組合法人くだもの畠 代表理事）

松田明彦氏（尾花沢市役所農林課）

成澤裕太氏（尾花沢すいか農学校）

土屋明美氏（やさい畑 i-make、しらたかマルチワーク事業協同組合）

コーディネーター 中川 恵氏（「山形学」実行委員）

実行委員 佐藤 純氏、村山 秀樹氏、結城 こずえ氏

◆プログラム：

12:55 事務連絡（事務局）

13:00 講座「挑戦！農業の道を切り拓く！」

13:00 趣旨・講師紹介、本日の流れ説明

13:10 佐藤氏講話（20分）

13:30 土屋氏講話（20分）

13:50 松田氏・成澤氏講話（40分）

14:30 休憩（10分）

14:40 「農トーク！」講師たちと語ろう（20分×3回）（60分）

15:40 コーディネーターからの質問等&まとめ（5分）

15:45 閉会

◆参加者数：35名

## 1. 佐藤氏（農事組合法人くだもの畠）講話

くだもの畠のメンバーの皆様と、どのように力を合わせて事業を進めているか、端的にお話いただきました。くだもの畠の取り組みでは毎年1～2名が独立しているとのこと。そこに至るまでに、佐藤氏ご自身が古い家を買って住みながら研修生を受け入れるなど、時には背中を押し、時には見守りながら、コンスタントに独立農業者を育て続けている仕組みは大変に興味深いお話でした。



## 2. 土屋氏（やさい畑 i-make）講話

トマト嫌いだった土屋さんが、なぜトマト農家になることを決意したのか、その過程から現在の様々な取り組みをお話いただきました。中でも、外来種として問題視されているブラックバスを肥料として使うなどの新しい挑戦や、子どもも含めた県民を対象とした農業体験イベントのすそ野を広げる活動やその意義のご説明は、土屋さんの熱い想いがうかがえる内容でした。また、マルチワーク事業協同組合のご説明も、なかなか馴染みのない働き方ですが、この取り組みに感銘を受けた受講生もいたようです。

## 3. 松田氏（尾花沢市農林課）成澤氏（すいか農学校研修生）講話

尾花沢すいか農学校の概要と、尾花沢ですいかが盛んな理由や、すいかの優れた収益性や米作の現状などをお話いただきました。確固たる信念に基づいた講話で、米作に比して各段に収益の良いすいかという農作物の魅力をもっと知ってほしいという受講生も多かったのではないのでしょうか。

また、後半では、松田さんからのインタビュー形式で、すいか農学校研修生の成澤さんからもお話を伺いました。多彩な経歴をお持ちの成澤さんの爽やかなお話と農家にはとどまらない活動をまぶしく感じました。



## 4. 農トーク！

グループに分かれて、受講生からのご質問に各講師から答えていただきました。興味深く、なおかつ鋭いご質問にも的確にお答えいただきました。ありがとうございました！

## 参加者の感想

---

- ・農業の最先端、特に山形の風土を活かした作物の生産に携わっている若い方々のお話をお聞き出来て、とても有意義な講座でした。
- ・山形県内の個人農業の方々、個々、これからの農業に対して深く考慮されて実行されていることにとても感動した。農業の楽しさを小さな子どもたちにもたくさん伝えてほしいと思う。
- ・トマト農家の土屋さんのお話が面白かった。良いトマトを作るため、情熱を持って取り組んでいる姿勢に感銘を受けた。トマトジュースもとても美味しかった。
- ・より踏み込んだ質問+回答が貴重でした。
- ・ありがとうございました！ 自分も農業を実践していますが、現実的なお知恵と勇気をいただき大変感謝しております。
- ・前向きな考え方に力をいただき、無理をしていない姿勢に自然体を感じました。
- ・仲間と共に地域への定着と活性化を目指し、人を育て町がワクワクすることをやっていく。大変素晴らしいと思いました。

講師の皆様、そして実行委員の皆様、参加いただいた受講生の皆様のおかげで充実した講座となりました。次回もどうぞ楽しみに！